

平成 22 年5月期通期個別業績予想数値の修正(平成 21 年6月1日～平成 22 年5月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	一株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	2,552	100	141	100	円 銭 1,391.98
今回修正予想 (B)	2,312	△69	△68	△222	△3,068.92
増減額 (B - A)	△240	△169	△209	△322	-
増減率 (%)	△9.4%	-	-	-	-
(ご参考)前期実績 (平成 21 年 5 月期)	3,386	37	44	△471	△6,533.41

(金額の単位:百万円)

3. 業績予想数値修正の理由

当社グループにおいては、インターネット広告市場のみに依存する事業構造からの転換を進め、当社グループ全体で、新商品の開発や相乗効果を高めるための施策を展開してまいりましたが、損益状況を大きく改善させるには至りませんでした。

個別通期業績予想に関しては、子会社株式に係る特別損失が大きく影響しており、当期純損失となる見込みであります。当社グループ内の相乗効果を高めた収益改善策を推進してまいりましたが、事業構造の転換を推進している状況において、売上高の減少を補うには至らないため、営業利益・経常利益においても当初予想を下回る見込みであります。このような状況により、平成22年5月期の個別通期業績予想を修正いたします。

連結通期業績予想に関しても、当社グループ内の強みを活かした展開が十分に寄与されなかったため、グループ全体の売上高を回復させるには至らず、営業利益・経常利益においても当初予想を下回る見込みであります。のれんの未償却残高全額を減損損失として特別損失に計上するため、当期純損失となる見込みであります。このような状況により、平成22年5月期の連結通期業績予想を修正いたします。

今回の個別決算および連結決算における特別損失は、保守的な会計処理を行うことにより、当社グループの財務体質を強化していくものであります。

今後は損益状況の回復に向け、グループ一丸となって、引き続き構造改革を推進してまいります。売上面では、アジア地域を中心としてグローバルマーケティングを強化し、新商品比率の向上・多言語売上比率の向上を図ってまいります。経費面ではローコストオペレーションの徹底を継続してまいります。

4. 配当予想について

なお、当業績予想の修正による期末配当予想の修正は行いません。平成 22 年5月期末配当予想につきましては、平成 21 年7月 13 日に公表いたしましたとおり、1株当たり 300 円を予定しております。

(注)業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき弊社において判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合がございますので、この業績予想に全面的に依拠しての投資等の判断を行うことは差し控えてくださいますようお願い申し上げます。

以上